



令和元年（2019年）第24週 2019年6月10日（月）～2019年6月16日（日）

熊本市 感染症発生動向調査 速報



★手足口病が4週連続警報レベルを超えています!!★

・予防法としては手洗いが基本です。症状が消失した後も2～4週間にわたり便中へ、ウイルスの排泄がある為、感染者は排便後の手洗いが重要です。感染者以外の人、感染している子どものおむつを取り替えたり、鼻水をとったりした後は、しっかり手を洗いましょう。また、脱水にならないよう気をつけましょう。

トピックス

●麻しん（はしか）について

近年、海外の流行地域で感染し、帰国後に発症して国内で流行する例が多発しています。麻しん（はしか）は急性発疹性のウイルス感染症です。感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。特別な治療法はなく対症療法が中心となります。空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。麻しんの一番の予防法は**予防接種**です。これまで予防接種を受けていない方や、1回しか接種を受けていない方には、麻しん風しん混合ワクチン（MR）の接種が勧められます。予防接種を受けてすぐに抗体は出来ませんので余裕をもって接種してください。詳しいことはかかりつけの医師にご相談ください。

（接種履歴は親子（母子）健康手帳を確認してください）



流行地域に行ったり、周囲に麻しんに感染した人がいる人で、発熱、風邪症状、皮疹等の症状が出現した場合は、麻しんによる症状の可能性があります。病院で受診をする際には必ず事前に医療機関に連絡をしてください。また受診の際は感染が広がらないよう、公共交通機関の利用を避けてください。受診の際は①流行地域での滞在歴②麻しん含有ワクチン接種歴（麻しん単独ワクチン、MR（麻しん風しん混合）ワクチンなど）③麻しん罹患歴（過去にかかったことがあるかどうか）④麻しんにかかった可能性があることを伝えて下さい。

【医療機関の方へ】麻しんは直ちに届出をしていただく感染症です。診察中など、麻しんが疑われた場合は、行政検査での対応が可能です。最寄りの保健所への早めのご連絡にご協力をお願い致します。

期 間		2019年 23週		2019年 24週	
		6/3～6/9		6/10～6/16（最新）	
疾患名 <small>（百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました）</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		0	0.00	1	0.04
RSウイルス感染症		0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱（プール熱）	<small>これから注意</small>	4	0.25	6	0.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		46	2.88	26	1.63
感染性胃腸炎		111	6.94	71	4.44
水痘（みずぼうそう）		5	0.31	12	0.75
手足口病	<small>警報レベル!!</small>	109	6.81	117	7.31
伝染性紅斑（りんご病）		6	0.38	10	0.63
突発性発しん		8	0.50	17	1.06
ヘルパンギーナ	<small>これから注意</small>	24	1.50	24	1.50
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）		2	0.13	3	0.19
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎（はやり目）	<small>これから注意</small>	13	2.60	15	3.00
細菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎（オウム病を除く）		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）		3	0.60	0	0.00